

まちづくり推進課長の仕事宣言！ 進行管理表

まちづくり推進 課 長 藤川 博一

重点事業の概要〔事業名：鳥栖駅周辺まちづくり検討事業〕

〔目標値：鳥栖駅利用者数 H27年度の目標値 15,000人／日〕

○過去の調査資料の再整理や再検証、また現状の鳥栖駅周辺の交通量などを基に、課題の整理・検証を行い、鳥栖駅周辺整備と道路整備を中心に、まちづくりの方向性を検討するもの。

○リープロ8-6「まちづくりの拠点としての利便性の向上を図ります。」に基づく事業。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	○関係機関協議（佐賀県・JR九州） ○鳥栖駅周辺まちづくり検討委員会の設置、開催（9月1日／10月16日） ○鳥栖駅利用者アンケート調査（9月15日／9月20日：650回収）
	自己評価	○まだ始まったばかりであり、特段の成果はないが、検討委員会では熱心に議論をしていただいている。
	下半期への対応	○様々な問題・課題について関係機関との調整を濃密にしていきたい。 ○市議会で設置された特別委員会との協議を通して、理解を得ていきたい。
下半期	取組実績	○市民アンケート調査（1月4日～15日：802回収） ○鳥栖駅周辺まちづくり基本構想(案)を策定し、パブリックコメント実施（2月12日～3月4日）
	自己評価	○検討委員会については、4回の開催に加え、別途検討委員の自発的な勉強会が2回開催され、大きな協力を得ることができた。
	目標値の達成状況	○年度内に鳥栖駅周辺まちづくり基本構想策定を策定できる見込み。
	次年度への対応	○次年度はより具体的な基本計画（整備事業の規模・施設の配置等々）の策定に入るため、関係機関・利害関係者との調整はより慎重に行うことが肝要。

所管部長（リープロ担当部長）の指示

上半期

検討委員会での議論を受け、本部会議での検討、市議会との連携を深め、年度内の基本構想策定に向けた取り組みをしっかりと進めること

下半期

今後、基本計画策定の作業において、関係機関との十分な協議及び利害関係者との調整に向け取り組みを進めること